

江古田小校長室便り 「温故創新」

H30(2018)・0105 NO71

校長 伊波喜一

意識して 動くところに 刺激あり いつも通りを 変える楽しみ

エコノミークラス症候群は、血流が悪く血栓が出来てしまう怖いものです。飛行機などで同じ姿勢を取り続けていると、脚の静脈の血流が悪くなり、血栓が出来てしまいます。それだけ、血液の流れは滞りやすいと言えます。これを防ぐには、意識して脚を動かす以外にありません。今、世の中は、景気が悪く先行きが見通せないという話題に事欠きません。こういう時には、敢えて冒険せず、着実に進むのが一番、という声には一理あります。言いかえると「堅実を旨とする」ことになるかも知れません。しかし、堅実に進むということとマンネリとを混同してはいけません。同じことに取り組むのでも、よりよいものを創り出そうと挑戦するのと、マンネリ化してしまうのとでは、結果に雲泥の開きが出ます。どんなことでも、挑戦する意欲を失えば、いつしか惰性に流され、流れが淀んでしまいます。いわば、精神のエコノミー症候群ということになります。

それを防ぐには？ 日々新たに、新しきを創る気概で挑戦する人には、若さがあります。その若さが、精神の動脈硬化を防ぐのです。